

製品名: MFRP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13851**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	62kDa

抗原情報

遺伝子名	MFRP
別名	Membrane frizzled-related protein (Membrane-type frizzled-related protein)
遺伝子 ID	114902.0
SwissProt ID	Q9BY79
免疫原	ヒト MFRP 由来の合成ペプチド

背景

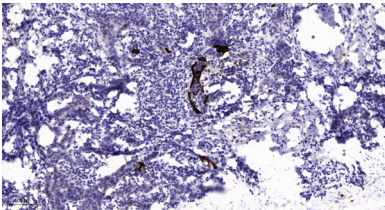
膜フリズルド関連タンパク質 (MFRP) ホモサピエンス この遺伝子は、フリズルド関連タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は眼の発達において重要な役割を果たしており、この遺伝子の変異は、ナノ眼球症、後部小

眼球症、網膜色素変性症、中心窩裂、視神経乳頭ドルーゼンと関連付けられています。このタンパク質は、C1q および腫瘍壊死因子関連タンパク質 5 (C1QTNF5) もコードするバイシストロニック転写産物によってコードされています。[RefSeq 提供、2013 年 6 月]、発達段階: 胎児脳で発現。疾患: C1QTNF5 の欠陥は、晩発性網膜変性症 (LORD) の原因です[MIM:605670]。LORD は常染色体優性遺伝疾患で、50 代から 60 代に夜盲症と網膜底の点状の黄白色沈着を呈して発症し、進行すると重度の中心性および周辺性の変性、脈絡膜新生血管、網脈絡膜萎縮を呈します。疾患: MFRP の欠陥は、MFRP 関連小眼球症 (MCOPMFRP) [MIM:611040] の原因です。小眼球症は、片眼が小さい状態から両眼の眼組織が完全に欠損している状態まで、臨床的に多様な眼形成疾患です。角膜や水晶体の混濁、網膜や脈絡膜の癒着、白内障などの眼異常も併発することがあります。MCOPMFRP は、後部小眼球症、網膜色素変性症、中心窩裂、および視神経乳頭ドルーゼンを特徴とする。疾患: MFRP の欠陥が、ナノ眼球症 2 (NNO2) [MIM:609549] の原因である。NNO2 は、極度の遠視と小さな機能眼を特徴とする、眼の発達に関するまれな常染色体劣性疾患である。機能: 眼の発達に役割を果たす可能性がある。類似性: 1 つの C1q ドメインを含む。類似性: 1 つのコラーゲン様ドメインを含む。類似性: 1 つの FZ (frizzled) ドメインを含む。類似性: 2 つの CUB ドメインを含む。類似性: 2 つの LDL 受容体クラス A ドメインを含む。組織特異性: 脳で特異的に発現する。延髄で強く発現し、海馬と脳梁でも低度に発現する。セラチノサイトで発現します。

研究分野

神経科学; 感覚系; 視覚系

画像データ



パラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。